

平成27年度 決算審査 特別委員会

平成27年度全9会計 の決算を認定

9月14日の定例会では、平成27年度9会計の決算を議長と監査委員（竹田議員）を除く全員で構成する決算審査特別委員会（新井田昭男委員長）を設置し、付託しました。この特別委員会では、平成27年度一般会計予算のほか8会計を審査し、9月23日に所見を付して全会計を認定しました。

決算審査特別委員会 に付託された案件

- 認定第1号
平成27年度木古内町一般会計決算認定について
- 認定第2号
平成27年度木古内町国民健康保険特別会計決算認定について
- 認定第3号
平成27年度木古内町後期高齢者医療特別会計決算認定について
- 認定第4号
平成27年度木古内町国民健康保険病院事業会計決算認定について
- 認定第5号
平成27年度木古内町水道事業会計決算認定について
- 認定第6号
平成27年度木古内町介護老人保健施設事業会計決算認定について
- 認定第7号
平成27年度木古内町介護保険事業特別会計決算認定について
- 認定第8号
平成27年度木古内町介護サービス事業特別会計決算認定について
- 認定第9号
平成27年度下水道事業特別会計決算認定について

町税収納率向上

過去5年間で最も高い水準

「審査所見」

平成27年度各会計決算では、病院事業会計が会計制度の改正により今年度も赤字決算となっているが、他の会計は全て黒字決算となっている。

その中で、国保税を含む町税については、全体の調定額が減少しているが法人町民税を除き、現年課税分及び滞納繰越分を合わせた収納率が前年を上回っ

ている。過去5年間で一番高い収納率になったことは、評価に値するものである。また、税を除く使用料等の収納率については、現年度分は前年より向上している項目もあるが過年度分は伸び悩んでいる。今後、徴収・収納事務に係わる担当課は、引き続き滞納額等が増えとならないように更なる努力と住民目線に立った不公平感のない事務の執行を図られたい。

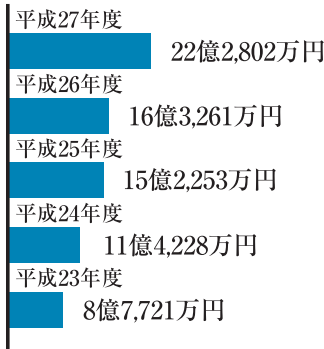
また、教育委員会事務局では各種委員会の未開催により報酬の支出額が0となっている項目があった。各種委員の中には、委員が共通認識を持つため年に一度は会議を開催しなければならぬ委員会もあると思われるので、そのような委員会については今年度の開催に配慮願いたい。

木古内町財政収支計画が示され、将来においては厳しい財政運営や財政調整基金残高の減少が予測される。今後も健全な財政運営に向けた経費の節減はもとより、職員一人ひとりが町民の付託に応える使命感を持って邁進することを強く要望する。

木古内町の基金と町債（過去5年）

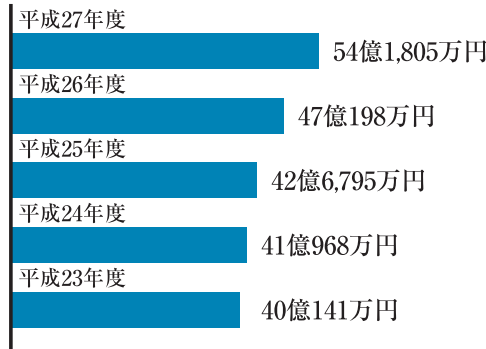
（貯金） （借入金）

●基金（貯金）残高の推移《一般会計》



※平成23年度の基金（貯金）は約8億7,721万円でしたが、4年後の27年度は約22億2,802万円となり、2倍以上となっています。

●町債（借入金）残高の推移《一般会計》



※平成27年度は新幹線関連整備事業が着々と進み町債（借入金）は、約54億1,805万円、昨年度比で7億1,607万円の増となっています。